



学校だより

小和田小学校

令和6年2月号

学校教育目標

「心も体も丈夫な子」「思いやりのある子」「自ら学ぶ子」

学校経営方針

一人ひとりを大切に、社会力のある人を育み、みんなの笑顔がある学校

学年を越えたつながり

校長 大野 洋

いよいよ2月に入り、今年度も残すところあと2ヶ月になりました。まだまだ寒い日が続きそうですが、暦の上では2月4日は「立春」で春の始まりです。暖かい春の到来が待ち遠しいこの頃です。

これまで、2年生が1年生に学校案内をしたり、6年生が1年生の教室の出張掃除や給食の手伝いに行ったりと個々の学年を越えた取り組みはなされていたのですが、今年度学校全体で学年を越えた縦割り活動に取り組みました。堅い言葉で表すと「異学年交流」となり、“異学年との交流を通して、自分を多面的に見ることや、人との関わり方について学ぶ。”を目標に実施の方法について検討を重ねてきました。各学年の子どもたちを30のグループに分け、組み合わせで1～6年生全て含まれた縦割りグループを作ったのです。そして各教室に分かれ、6年生を中心に1時間レクなどを行い、交流を深める計画です。本来なら3回目の活動を終えているはずだったのですが、学級閉鎖などでなかなか予定通り実施できず、ようやく18日に2回目の活動を行うことができました。1回目は、まず顔合わせということで自己紹介を行ったり、互いを知ることができるようなゲームをしたりと教員から提案されたものを6年生が進行役になって進めました。早く低学年の子と仲良くなろうとオリジナルの名札を作って臨む子や元気よく進行しようとする大きな声で話す子など随所で頼もしい6年生の姿を見ることができました。2回目は、全児童名札を付けて、6年生が考えて進行するレクを楽しみました。「じげんばくだんゲーム」「へびじゃんけん」「震源地はどこだ」「お絵かき当てゲーム」など、どの学年の子も楽しめるプログラムを考え、取り組んでいました。終了後、いい顔をして自分の教室に戻っていく子どもたちの姿が印象的でした。



小和田郵便局



今年も2年生の「小和田郵便局」が開設されました。こちらも全校を巻き込んでの活動です。郵便局員となった2年生は、今年は配達業務だけでなく、はがきの販売業務もおこないました。多目的室に店舗を構え、20分休みや昼休みに専用のはがきを用意し販売しました。今年は、2年生ががんばって描いた絵入りのはがきもあり、行列ができるほど人気を博していました。手分けして全教室に行ってルールを説明したり、放送で宣伝したりと大活躍でした。2年生ごくろうさま。